

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホームげんきの家

作成日：平成24年12月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		集団生活で楽しめているが、個別に合った趣味の時間が少ない。	個別で楽しめるように活動の時間をつくる。	①個々のニーズを知る。 ②計画を立てプランに沿って実行する。 ③楽しめる内容は続けて行い、作品などを完成させて意欲につなげる。	6ヶ月
2		自分で動けない人や倦怠感が強い人に対して、体力に応じた機能訓練が不十分である。	機能訓練に必要な知識を得る。	①リハビリスタッフより指導を受ける。 (拘縮予防、関節可動域) ②現在実施中の生活リハビリの継続(発声練習、マッサージ、ベッド上での寝返り、起き上がり)	12ヶ月
3		運営推進会議についての議事録は毎回、ホーム内に掲示しちえるが、目を通す家族が少ないこともあって周知が十分でない。	運営推進会議の内容を家族へ周知する。	①げんきの家便りの中で会議の内容を掲載する ②必要に応じて議事録を郵送する。 ③会議の内容で心配なことや相談したいこと等、ホームへ直接言えないことなどは、家族会会長を通して意見を出していただけるようにする。	6ヶ月
4		防災訓練の際、地域の方との連携が取れていない。	地域の方々と防災について共有できる。	①地域総会の中でホームの意向などを伝え協力を依頼する。 ②区長へ予定を早めに伝え、参加を募っていただく。 ③日頃から気軽に立ち寄れるように、回覧板等の利用を検討する。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。